

J A 全農ちば 営農情報集 (8月号)

今月の情報

1. 令和2年産米 最後の仕上げ
～適期収穫と乾燥・調製について～
2. 園芸野菜・果樹 病害虫防除情報
3. 12月～1月収穫向け寒玉キャベツ
品種比較試験結果について【成果紹介】
4. 安全な農作物生産の取り組みについて
～農作業事故防止について～

8月の気象について（気象庁 7/30 発表 長期予報（1か月）から）

1. 7月までと打って変わり、気温が高くなり
晴れの日が多くなる予報です。作物の生育や
病害虫の発生も変動しますので、栽培管理や
防除、特に施設栽培では特に苗・定植後の
温度管理に注意しましょう。
2. 高温のため熱中症の発生も懸念されます。
適度な休憩・水分補給を心掛けてください。

（長期予報（1か月）は毎週木曜日に発表されます。週予報とともに確認し、今後の栽培管理の計画を立てましょう）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

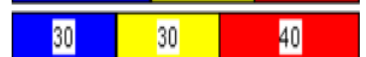
【気温】関東甲信地方



【降水量】関東甲信地方



【日照時間】関東甲信地方



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

令和2年8月

J A 全農ちば 営農支援部

営農技術情報集のカラー版や、その他の営農情報は全農ちばHP内営農情報コーナーにて公開中！

全農ちばHP < <http://www.cb.zennoh.or.jp/index2.html> >

令和2年産米 最後の仕上げ

～適期収穫と乾燥・調製について～

J A全農ちば
営農支援部

1. はじめに

昨年同様、7月中旬以降は低温、日照不足により、全体的に生育が遅れています。

「コシヒカリ」は出穂が特にバラついています。成熟期の判断には例年以上に注意を払いましょう。

2. 乳白米防止のために水管理の徹底

乳白米は、天候や水稻の生育量、肥培管理など様々な要因により発生します。特に登熟期に高温寡照が続くと水不足になり乳白米が多く発生し品質低下が大きな問題となります。

また自然由来のカドミウムの吸収を抑えるためにも出穂3週間前～出穂2週間後まで湛水状態を保つようにし、収穫直前の出穂後25日頃までは間断かんがいを続け、早期落水は絶対にさけましょう。

表1 品種別の生育進度と成熟期の予測

品種	植付時期	成熟期予測			
		県北	九十九里	内湾	県南
ふさおとめ	4月20日頃	8月17日	8月14日	8月14日	8月13日
ふさこがね	4月20日頃	8月24日	8月20日	8月20日	8月20日
コシヒカリ	4月20日頃	9月1日	8月26日	8月26日	8月26日
	5月1日頃	9月6日	8月31日	8月31日	8月31日
	5月10日頃	9月6日頃から			

※水稻の生育状況と当面の対策 第6報（千葉県農林水産部 7月28日発表）より

3. 刈取時期の判断について

水稻の刈り取り適期の判定は、一般的に出穂後の日数による判断と帯緑色籾歩合による判断があります。出穂後の刈取りまでの日数は各品種で違うので注意しましょう。また、天候不順や高温など天候によっては刈取りまで日数に大きく影響を与えるので、登熟ムラの可能性が高くなります。出穂後日数は大まかな目安に行い、水稻の登熟をしっかりと確認（**「帯緑色籾歩合15%*」**）し収穫しましょう。特に「コシヒカリ」は出穂がバラつくと見込まれているため、帯緑色籾歩合の判断は重要です。

表2 出穂から刈取りまでの日数の目安

品種	ふさおとめ	ふさこがね	コシヒカリ	あきだわら
出穂後日数	33日	37日	38日	48日

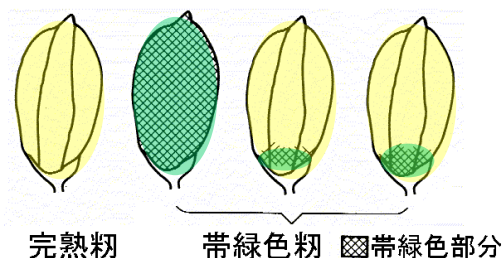


図1 帯緑色籾の見分け方

※帯緑色籾歩合とは籾に少しでも緑色の部分がある籾の割合のことで、帯緑色籾歩合15%の時に収穫を行います。

4. 乾燥・調製について

高温による急速な乾燥や過乾燥等は胴割れ米を発生させ、品質・食味を低下させます。乾燥の仕上げ水分は、14.5～15.0%(※)とし、特に過乾燥は避けましょう。

また乾燥直後の穀温が高い状態で籾摺りをおこなうと肌ずれ米等が生じやすいので、籾摺りは充分放冷してから行い、籾摺り機のロール幅は品種に応じて調製しましょう。

選別は1.8mm以上の網目を使用し、粒張り、食味のよい「おいしいお米」を出荷しましょう。

※JAにより、受ける米の水分値が別に定まっていますので、事前に確認しましょう。

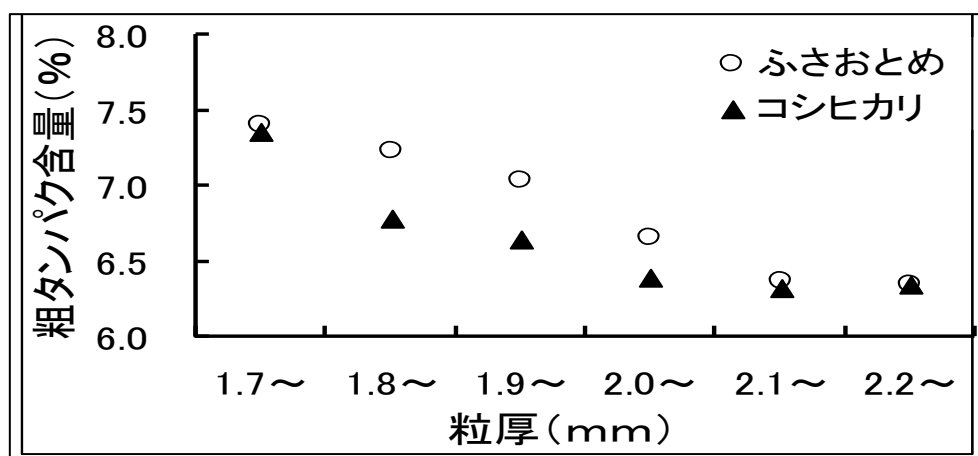


図2 粒厚と粗タンパク含有の関係

5. 生産履歴記帳について

生産履歴簿は皆さんが出荷するお米が、どんな品種で、どんな管理をして、どんな資材を使っているかを確認し、適切な管理で栽培したことを証明するためにあります。

出荷にあたっては記入漏れ・記入間違いが無いかももう一度生産履歴簿を確認し、JAへ提出しましょう。

提出前のチェック項目！

- ☐①JA 名・氏名の記入漏れ、押印漏れはありませんか？
- ☐②作付圃場の地番・面積、合計面積に記入漏れはありませんか？
- ☐③出穂期を確認して記入しましたか？
- ☐④収穫予定日を記入しましたか？
- ☐⑤選別網のサイズを確認しましたか？
- ☐⑥肥料・農薬の資材名はきちんと記入しましたか？
※使用量は10a 当たりで記入！
- ☐⑦JA 担当者に中間確認と最終確認をしてもらいましたか？

作成者：古内

園芸野菜・果樹 病害虫防除情報

J A全農ちば
営農支援部

1. はじめに

今年は梅雨の影響で降雨と日照不足が長引いたため、作物が軟弱に生育していることが考えられます。8月からは晴れが続く予報が出ていることから、害虫や高温性病害（ネギ軟腐病など）の発生に注意しましょう。

また一般的に、高温時や作物が弱っている時は、薬害リスクが高まるため、薬剤防除は早朝か夕方の涼しい時間に行いましょう。

2. トマト(コナジラミ類・アザミウマ類)



タバココナジラミ・黄化葉巻病被害



アザミウマ類

●育苗～定植時期を迎えますので、初期防除を実施しましょう。

育苗期～定植時の粒剤・灌注処理は必ず行いましょう。コナジラミ類・アザミウマ類は下葉から寄生が始まります。第一花房以下の葉裏には要注意です。薬剤を散布するときはノズルを逆手に持つなど、葉裏からも葉がかかるような散布方法も織り交ぜましょう。また、薬剤だけでは十分な防除はできませんので、以下の対策も徹底しましょう。

●ハウスへのコナジラミ類・アザミウマ類の進入防止対策を実施しましょう。

- ・ハウス周辺の除草を実施し、発生源を除去しましょう。

コナジラミ類・アザミウマ類は雑草にも寄生します。また、野外の野良生えトマト（前作残さ）で見つかることも多いです。アザミウマ類は花にもよく集まるので、花き類・雑草の花も発生源になります。

- ・ハウス内に黄色粘着板を吊るし害虫の予察に努めましょう。

微小害虫のため発見が難しいので、入口、側窓側、天窓下など害虫の侵入口となる場所を中心に設置し予察を行いましょう。

- ・ハウスには防虫ネット(1mm～0.4mm)を張り、微小害虫の侵入を防ぎましょう。

目合いの細かいネットは風上側や入口など、害虫が侵入しやすい場所へ展張すると効果的です。

○トマト コナジラミ・アザミウマ 防除薬剤

薬剤系統	IRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
ネオ ニコチノイド系	4A	ベストガード粒剤	1～2g/株	育苗期(株元処理) 定植時(植穴処理土壌混和)	どちらか 1回
		ベリマークSC	400 倍・25mL/株	育苗期後半～定植当日(灌注)	1回
ジアミド系	28	プリロツソ粒剤※1	2g/株	育苗期後半～定植時 (株元散布)	1回
マクロライド系	6	アニキ乳剤	1000～2000 倍	収穫前日	3回以内
IGR剤	15	マツチ乳剤	2000 倍	収穫前日	4回以内

※1 乾燥状態では効果が出にくいです。処理後灌水を行いましょう。

3. ネギ（白絹病・軟腐病）

(1) 白絹病

白絹病は高温（30℃程度）と多湿により発生しやすい病害です。下葉がしおれ、地ぎわ～地下部の軟白部に白いカビや菌核（白い粒）が発生します。発生後の対策は困難ですので、土寄せを行う時にあわせて予防しましょう。

○ネギ 白絹病防除薬剤

FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
7	モンカット粒剤	4～6kg/10a	土寄せ時・収穫 30 日前 (株元散布)	3回以内	予防・治療
	モンカットフロアブル 40	2000 倍			
29	フロンサイド粉剤	15kg/10a	土寄せ時・収穫 21 日前	2回以内	予防
14	リゾレックス粉剤	20～30kg/10a	土寄せ時・収穫 14 日前	3回以内	予防
11+4	ユニフォーム粒剤	9kg/10a	土寄せ時・収穫 90 日前	1回	予防

(2) 軟腐病

軟腐病も白絹病と同様に高温（30～35℃）で発生しやすいです。地上部の生育不良やしおれから始まり、株元や軟白部が軟化腐敗し、腐敗臭が発生することが特徴です。細菌病のため効果的な薬剤が限られます（下表）。土壌伝染する病害ですので、株元にもかかるよう散布しましょう。

○ネギ 軟腐病防除薬剤

FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数※	備考
31	スターナ水和剤	2000 倍	収穫 7 日前	3 回以内※	予防・治療
31+M1	ナレート水和剤(スターナ＋有機銅)	1000 倍	収穫 21 日前	3 回以内※	予防・治療
31+24	カセット水和剤(スターナ＋カスミン)	1000 倍	収穫 14 日前	2 回以内※	予防・治療
P2	オリゼメート粒剤	6kg/10a	土寄せ時・収穫 30 日前	2 回以内	予防

※スターナ・ナレート・カセット は合わせて3回以内（共通成分：オキシリニック酸）

4. ニンジン 一年生雑草防除

土壌に処理する除草剤は成分が水により土壌表面に広がることで、出芽してくる雑草を枯らしめます。土壌が乾燥していると成分が広がらず効果が発揮されないなので、適度に土壌水分がある時に使用しましょう。乳剤を散布する場合は水量 100ℓ/10a を基本とし、土壌の乾燥状態に合わせ、登録の範囲で調整しましょう。

○ニンジン 除草剤

対象雑草	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数	散布量
一年生雑草 (播種後)	ゴーゴーサン乳剤	200～400ml/10a	播種後出芽前	1回	70～150ℓ
	ゴーゴーサン細粒剤 F	4～5kg/10a	播種後出芽前		－
	クレマート乳剤	200～400ml/10a	播種後発芽前	1回	100～150ℓ
	クレマートU粒剤	4～6kg/10a	播種後発芽前		－
	ロロックス	100～200g/10a	播種直後	1回	70～150ℓ

5. ダイコン(キスジノミハムシ・ハイマダラノメイガ)

いずれの害虫も子葉展開時から発生し始めますので、早めに防除を実施しましょう。

(1) キスジノミハムシ

早播き（8月中旬～下旬）では被害が多く見られます。
成虫は体長数ミリで、食害痕として子葉に小さい穴が残ります。
根部の被害は土壌中に潜り込んだ幼虫が原因です。



(2) ハイマダラノメイガ(シンクイムシ)

成虫は体長 1～2cm くらいの茶褐色の蛾で、
葉裏に産卵します。幼虫は生長点を食害するため欠株の
原因となります。本葉 1～2 枚ごろまでに防除を行いましょう。



○ダイコン キスジノミハムシ・ハイマダラノメイガ 防除薬剤

対象病害	IRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
キスジ ノミハムシ	4A	スタークル粒剤	9～12kg/10a	播種時	1回	全面土壌混和
	3A	フォース粒剤	6～9kg/10a	播種時	1回	全面土壌混和
	1B	ラグビーMC粒剤	20～30kg/10a	播種時	1回	全面土壌混和
	28	ベネビアOD	2000 倍	収穫前日	3回以内	ハイマダラノメイガ にも登録
ハイマダラノ メイガ	28	プレバソンフロアブル 5	2000 倍	収穫前日	3回以内	

作成者：名雪

12月～1月収穫向け

寒玉キャベツ品種比較試験結果について

J A全農ちば

1. 加工・業務用野菜は需要が増加しています。

外食・中食利用が進み、野菜においても加工・業務用需要が増加しています。主要野菜（ばれいしょを除く指定野菜13品目）全体の2015年度の加工・業務用需要の割合は57%（農林政策研究所推計）となっており、用途が加工原料（カット・冷凍）や外食・中食用食材として利用される割合が増加しています。

2. 加工・業務用に向けたキャベツは、「固く良く締まったモノ」。

キャベツではカットした際に型崩れしにくく、作業がしやすいキャベツが好適とされ、固く良く締まった寒玉系キャベツが使われます。今回は令和1年に品種比較した結果を記載します。

3. 結果 12月～1月収穫向け品種比較結果（令和2年1月31日調査）

試験結果を表1に記載します。収量については以下のとおりです。

収量8 t / 10 a 以上は、「YCR-こんごう」と「冬藍」

収量7 t / 10 a 以上は、「夢舞台」・「彩音」・「ふゆみつ」

収量6 t / 10 a 以上は、「TCA-422」・「冬武者2号」

となり、いずれの品種も球の締まりの目安となる 0.5 g/cm^3 以上となりました。
各品種の特徴については以下のとおりです。



4. 品種特徴について

（1）YCR-こんごう（日本農林社）

中生種で、栽培期間中の草勢が強く、栽培しやすい品種であった。玉伸びも良好で重量感があり、在圃性のある品種で芯長はほかの品種よりも伸びたが、裂球は遅いように感じた。

（2）冬藍（サカタのタネ）

栽培期間中の草勢が強く、栽培しやすい品種であった。玉伸びもYCR-こんごう同様に良好で重量感があつた。

（3）夢舞台（タキイ種苗）

中晩生の品種で、株の張りは他品種と比べて大きい印象であった。芯の伸びが遅く、晩抽性に優れる裂球も遅いと感じた。

(4) 彩音 (タキイ種苗)

中晩生種で、夢舞台と同様株の張りは大きい印象であった。また、裂球は遅かった。

(5) ふゆみつ (増田採種場)

生育は旺盛で玉も良く伸びた印象であった。他の品種と比較して収穫適期になるとやや黄緑色となり、見た目にも特徴があった。また、調査時に食味したところ、甘味を特に感じた。

(6) TCA-422 (タキイ種苗)

晩生の品種で、今回の調査は1月31日に実施したが、芯長も他の品種と比較しても伸びは遅かったことから、収穫は2月以降の方が更に玉伸びしていた。また、玉の揃いも良く、ふゆみつと比べても食味が良好であった。

(7) 冬武者2号 (中原採種場)

中生種で、生育は旺盛であった。調査時に芯長が7cmを超えていたものの、裂球が遅い印象があり、在圃性は高いと思われる。

表1 12月～1月収穫向け品種比較結果 (令和2年1月31日調査)

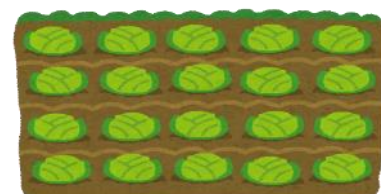
品種名	結球重 (g/株)	結球緊度 (g/cm ³)	芯長 (cm)	芯径 (cm)	収量 (t/10a)
彩音	1,787	0.55	5.3	3.3	7.2
夢ごろも	1,264	0.54	6.2	2.6	5.7
夢舞台	1,718	0.58	5.5	3.1	7.8
TCA-422	1,430	0.52	5.6	3.2	6.5
YCR-こんごう	1,914	0.68	7.9	3.1	8.7
冬藍	1,832	0.63	7.1	3.3	8.3
ふゆみつ	1,578	0.52	6.6	3.5	7.1
冬武者2号	1,488	0.57	7.2	3.2	6.4

注) 数値は10球あたりの平均値

注) 結球緊度は結球重 (g) / 結球体積 (cm³) とし、結球体積は $4/3\pi \times$ (球幅/2) × (球高/2) で求めた。なお、結球緊度の目安は 0.5 g/cm³

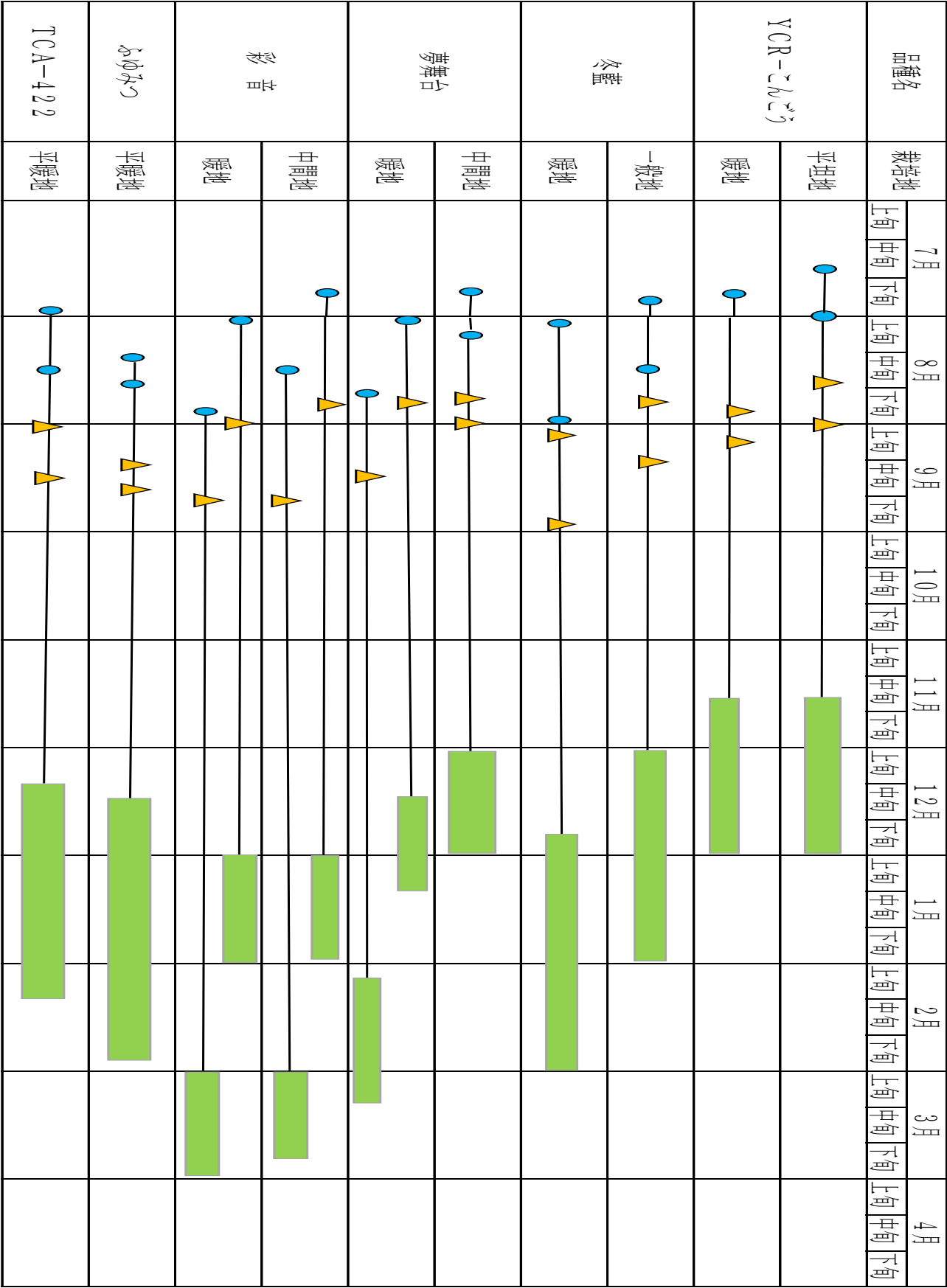
注) 収量は栽植密度 (4,761 株/10a) × 収穫株率 (%) / 100 × 結球重 (g) / 1000

注) 耕種概要 元肥 : N:P:K=23.8 : 22.4 : 15.4 播種日 : 播種日 : 8月5日～
8月7日 定植日 : 8月28日 栽植 : 畝間 60cm、
株間 35cm 4,761 株/10a



※資料を横にしてご覧ください。

表 各品種の作型表



安全な農作物生産の取り組みについて

☆農作業事故防止☆

J A全農ちば
営農支援部

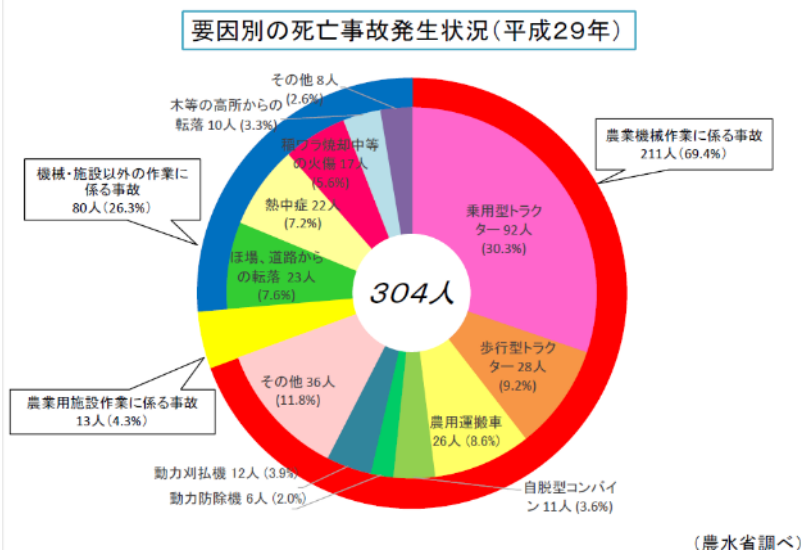
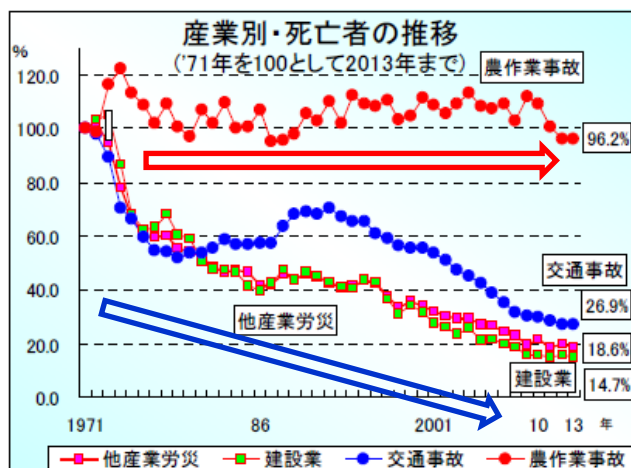
1. 減らない農作業事故

農林水産省では、1971年以降、産業別の死亡事故調査を行っています。その結果を見てみると、他産業では約27%、建設業でも約16%減少傾向であることにに対し、**農作業事故はこの40年間、毎年約400件の死亡事故があり、その数は減っていません。県内でも毎年10件ほど事故が発生しています。**

農作業死亡事故の発生状況を年齢別にみると、65歳以上のベテランの方々に事故の発生が多く、発生状況別だと、機械作業中による事故が大半を占めています。

『いつも大丈夫だから問題ない』『ちょっとだけだから…』に大怪我の危険性があります！

まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全を心がけましょう。



2. 農作業事故防止

(1) 作業中は常に注意しましょう！

作業の終盤や疲れがたまった際に、ふと集中力が切れると事故が起こりやすくなります。特に高いところでの作業(脚立使用時等)では、最後まで気を抜かないようにしましょう。

(2) 作業中のトラブル時は、必ずエンジンを止めて確認しましょう！

「ちょっと確認するだけだから…」という時でも必ずエンジンを止めてから確認しましょう。



巻き込まれ注意！！

(3) 体にあった服装で行いましょう！

機械に巻き込まれる原因にもなりますので、袖のボタンなどもしっかりとめましょう。



(4) 二人以上での作業・携帯電話を持ち歩きましょう！

事故が起きてしまった際に、助けを呼べる体制で作業しましょう。

「ちょっとだけだから…」と気が抜けると大きな事故につながります。
皆さんで農作業事故ゼロを目指しましょう！